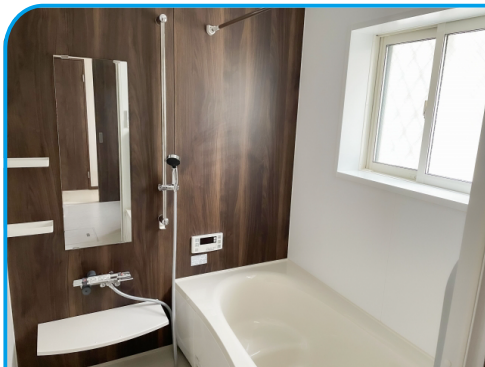


住まいのお手入れ guide!

Q&A

よくある質問とその答え

バスルーム



Q1

浴室のところどころに白い汚れが…。

A1

それは、おそらく「石鹸カス」です。石鹸カスは、石鹸や身体の皮脂と水道水の中のカルキが結びついてできる汚れで、水に溶けにくいので、こびり付いてしまうと厄介です。ちょっと白っぽいかな…と思ったら、中性洗剤を付けてブラシでこすり落としてください。

Q2

浴槽の縁についたザラザラは、なんなのでしょう？

A2

水道水中のカルキが堆積した汚れと考えられます。これを落とすには、軽いものであれば、クリームクレンザーなど研磨材の入った洗剤でやさしくこすって落としてください。但し、ザラザラは落ちて、その部分のツヤが失われる場合があります。なるべくカルキが固着しないように、日々の掃除の際に浴槽の縁もお気を付けになり、最後にサッと水を拭き取っていただくと軽減できます。

Q3

浴室の床に赤っぽい汚れが。これはなんなのでしょう？

A3

水がたまった場所や湿度が高い場所で、汚れを栄養に酵母の一種が繁殖することがあります。それが赤っぽい色の汚れの正体。軽いものなら中性洗剤とスポンジで簡単に落ちますが、長い間こびりついてしまったら、クリームクレンザーを付けた歯ブラシなどでこすり落としてください。長く放置しておくと、黒カビをつくる原因になるのでご注意ください。



毎月の入浴後にシャワーで流しておくことも大切です。

Q4

浴室換気扇の運転時間の目安はありますか？

A4

気温、湿度等の環境によって異なりますが、悪臭やカビの発生を抑えるため、入浴後は必ず浴槽フタをして換気扇を30分以上回し、換気してください。その際、浴室窓は閉め、ドアのガラリ（開閉ルーバー）は開いて行ってください。

Q5

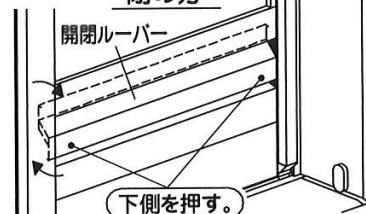
換気扇を回す時、窓サッシは開けてもいいものですか？閉めた方がいいのですか？

A5

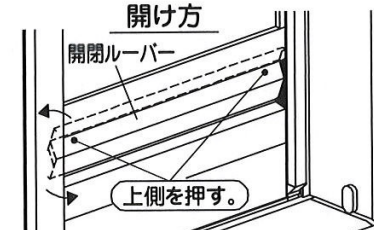
浴室の窓サッシや出入り口（ドア）を開ける場合は、換気扇を回す必要はありません。窓サッシや出入り口（ドア）を閉めてから回すようにしてください。そうすることで、出入り口（ドア）のガラリ（下方）から空気が吸い込まれ換気扇へと向かう風（上方）の流れが発生し効果が発揮されます。換気扇を回す時は、ガラリが開いていることをご確認ください。出入り口（ドア）のガラリは開閉できるため、開けた状態にする必要があります。ガラリの開閉方法は下記を参照してください。

- ①開閉ルーバーの操作は、扉を閉めた状態で浴室より行ってください。
- ②操作は、開閉ルーバーの左右の端を指で同時に押してください。

閉め方



開け方

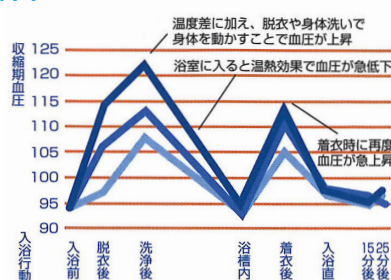


ヒートショックにご注意！ 浴室と脱衣所の 温度差を無くしましょう。

「ヒートショック」とは、急激な温度差が発生した時に身体へかかる衝撃のこと。入浴の場合は洗面室と浴室、または洗い場と浴槽の温度差によるものです。具体的には血圧の急変動や脈拍数の急増が見られ、ご高齢者や高血圧などの不安をお持ちの方にとっては、特に心配です。

これを防止するには、まず浴室を温めてから入浴すること。そして、入浴後、脱衣所に出る時にも注意が必要です。温まった身体と温度の低い脱衣所との差も無くすようにしましょう。

DATA 浴室温度が低いほど血圧変動が激しい



※東京ガス（株）都市生活研究所による資料より引用

